

デジタル田園都市国家構想交付金の継続

【担当省庁】 内閣官房 内閣府

奈良県における取組



令和5年度当初予算で必要な規模の**デジタル田園都市国家構想交付金**を**確保いただく**とともに、第1回募集において本県及び本県市町村の事業を**採択いただいたこと**に**心より感謝**。

- デジタル田園都市国家構想交付金は、「地域の自立を図り、暮らしやすい奈良を創る」ことを目指す本県の地方創生を推進する強力なエンジン。
- 本県ではこれまでも、内閣府・内閣官房の職員の方々を講師としてお招きし、県・市町村職員がともに学ぶ勉強会を開催するなど国からご支援をいただきながら、積極的に交付金を活用。
- 本県では、
 - ①奥大和地域における拠点のネットワーク化とシビックプライドの醸成
 - ②2025大阪・関西万博を契機とした周遊型観光と食・農の消費・販路拡大促進プロジェクトなどの事業にデジタル田園都市国家構想交付金を効果的に活用しており、来年度においても継続して事業を実施する予定。

(参考) 令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金 奈良県交付決定額

・推進タイプ	奈良県	8事業	3億5,628万円
	市町村(16市町村)	19事業	2億2,307万円
・拠点整備タイプ	市町村(1村)	1事業	2億9,764万円

〈本県の取組事例〉

①奥大和地域における拠点のネットワーク化とシビックプライドの醸成

(事業期間:令和4~6年度)

人口減少地域である奥大和地域の各拠点の人材・ノウハウ・情報の相互共有の促進、若年層を中心としたシビックプライドの醸成、地域事業者の商品開発や販路開拓の支援、基幹産業の担い手確保等により、人口流出抑止・移住促進を図ります。



奥大和地域各拠点のHUB
奥大和移住定住交流センター「engawa」



国内外のデザイナー、地域の事業者、大学院生等のチームで新たなデザインを作成

②2025大阪・関西万博を契機とした周遊型観光と食・農の消費・販路拡大促進プロジェクト

(事業期間:令和4~6年度)

本県の観光資源の特徴である歴史・文化資源の受入環境の整備や、日本の食の発祥地・奈良の食との連携等により、周遊型観光の促進や、美味しい奈良の食の魅力向上を図ります。



奈良で食を楽しむ機会の創出
(食イベントの開催)



海外現地イベントへの出展

国にお願いすること

○地方創生の実現のためには、地方の**デジタル化とともに、従来からの地方創生の取組についても継続的かつ安定的に進める必要があるため、デジタル田園都市国家構想交付金**について、来年度以降も**継続的な財源の確保、本県事業に対する必要な額の交付**をお願いします。

【県担当部局】知事公室政策推進課
知事公室美しい南部東部振興課
観光局観光プロモーション課